

名古屋市立大学医学部の「ウルトラマラソンにおける熱中症予防と持久性運動のストレス評価」および、東京都健康長寿医療センター研究所の「130km ウルトラマラソンにおける尿中および血中生化学プロフィールの変動に及ぼすミトコンドリアおよび核 DNA 多型の影響」にご参加いただいた皆様へ

順天堂大学大学院
スポーツ健康科学研究科
福典之

当大学大学院スポーツ健康科学研究科では、当大学の倫理委員会の審査を受けて以下のスポーツ科学研究を実施しており、調査データ(ゲノムデータを含む)解析の研究対象者として、名古屋市立大学医学部の「ウルトラマラソンにおける熱中症予防と持久性運動のストレス評価」(研究代表者:徳留信寛)および、東京都健康長寿医療センター研究所の「130km ウルトラマラソンにおける尿中および血中生化学プロフィールの変動に及ぼすミトコンドリアおよび核 DNA 多型の影響」(研究代表者:福典之)にご参加いただいた一部の方のデータを使用しております。

対象者に該当する可能性のある方で調査データを下記の研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせください。また、ご自身の調査データが本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合も下記の連絡先にお問い合わせください。

1. 研究の名称(研究番号)

ウルトラマラソンにおける尿中および血中生化学プロフィールの変動に及ぼす遺伝子多型の影響(順大ス倫第 2022-82 号)

2. 研究の目的

ウルトラマラソンという疲労困憊に至るような身体運動中および運動後の血中・尿中生化学プロフィールの変動と遺伝子多型の関係を検討することで、疲労耐性や筋損傷の個人差に影響する遺伝子多型を明らかにすることを目的とします。

3. 研究責任者

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 先任准教授 福典之

4. 共同研究機関

- ルンド大学

5. 研究期間

2027年3月31日まで(延長予定)

6. 利用する試料・情報の項目

- 血液から得られた総 DNA 並びに DNA 検体を解析して得られたゲノム情報
- 対象者の属性データ(性別、年齢、身長、体重、体脂肪率、安静時心拍数、骨密度、生活習慣、運動習慣、食習慣等)、ウルトラマラソンレースの成績およびレース前後の血中・尿中生化学プロフィール

7. 試料・情報の利用目的

候補遺伝子アプローチ(例えば TaqMan Genotyping Assay)で得られたゲノム情報から、筋損傷や疲労耐性などの個人差を規定する遺伝子多型を同定します。

8. 他の研究機関への試料・情報の提供

得られた DNA や解析されたゲノム情報は、当大学の分担研究者および上記の共同研究機関の共同研究者において解析のために利用されます。その際は、特定の個人を識別できない匿名化試料・データとして解析します。

9. 試料・情報管理責任者

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 先任准教授 福典之

10. 問い合わせ先

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 先任准教授 福典之

〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台 1-1

電話:0476-98-1001(内線 9203)

メール:noriyuki.fuku@nifty.com